

# 園田地区会館(支所との統合施設)は東園田地区に設置を!

支所も地区会館も老朽化しており、市は統合して建て替えするとの素案を発表しました。田村征雄が12月議会で質問しました。

**田村** 東園田地区から(説明会)に多くの参加者があったことは、今の場所に残して欲しいという熱意の表れです。

市内の地区会館でももつとも利用率が高く、園田地域全体から利用することと定着していること、東園田地区にあつてこそ藻川と猪名川に囲まれた島之内という地理的条件で専門家による防災講演会を開き、災害時の避難所、支援センターの役割を果たせること、

高齢化が進み当局が示した東高校跡地の場合は、川を越えてまで行きにくいことなど、地域住民は、統合施設は今の園田地区会館の場所にと強く求めています。

**Q・質問します。**

統合施設の場所として、当局から、園田支所の場所、今の園田地区会館の場所、東高校の跡地の三か所が選択肢として提案されていますが、これまでのパブリックコメント、3回にわたる説明会での住民の意見から、統合施設は現在の園田地区会館の場所にすべきと考えますが、いかがでしょうか。

**当局答弁**

3月の市民説明会では、東園田地域にお住まいの方から、複合施設の設置場所は地区会館の現在地にして欲しいとのご意見をいただいております。また、今回、11月に行った市民説明会でも、105人の参加者のうち、藻川の東側にお住まいの方80人弱(77人)のご参加をいただくなかで、同様の意見が寄せられたところでございます。

一方、川の西側に位置する東高校跡地や、園田支所の現在地での建替えを望まれる声も多くございます。

引き続き、地区の皆様との協議、意見交換を進めるなかで、地区全体のご意見を集約し、複合施設の設置場所を決定してまいりたいと考えております。

- 「公共施設の最適化」についての尼崎市の素案(抜粋)では(園田地区を例にしています)
1. 園田支所と園田地区会館を統合する。統合する場所は、(1案)東高校跡地 (2案)支所または地区会館の現在地とし、今年の9月頃にどちらかを決定する
  2. 園田駅前も園田支所の証明コーナーも廃止。  
地域保健と福祉の窓口は社協各支部に委託で調整
  3. 証明業務は、塚口など3か所に集約。



猪名川と藻川に囲まれた東園田地区(いわゆる島之内地区)に地区会館がなくなってしまうのでしょうか?

**田村征雄のT.N.T.☆**

○これまで防災講演会を開催しており東園田地区の災害に備え、市職員のいる地区会館を防災拠点に位置づけること

○住民の生活上の行動は、阪急園田駅が結節点となることが多く、バス交通ルートにある現在の地区会館の場所が最適であること

○藻川の東西では別々の生活圏という地域特性がある。

東高校跡地になると、東園田地区に公共施設がなくなり大問題だ、藻川西には園田公民館が存続されることから活用を図るべきこと

○駐車場スペースは、設計で決できること

☆地域で運動が必要です  
東高校跡地ではなく、園田地区会館の場所に設置を求める地域ぐるみの運動をおこしましょう。

迎春 2013. 1. 10  
今年も住民の利益第一で取り組みます  
市議会議員 **田村征雄** です  
事務所/東園田町5-64  
電話 6493-9049 本号は議会報告です

# 園和幼稚園は暫定でなく、存続園にせよ 東園田には園和と園和北の2園必要です

尼崎市教育委員会のプログラムでは、園和と園和北について  
1・園和北幼稚園は存続園、園和幼稚園は暫定園とする。  
2・暫定園とは、4才児の募集時に、園和と園和北の合計が60人を2年続けて割り込めば、園和を廃止する。↓ 暫定園は、最終的に廃園にすると明記。

## 田村征雄の問題提起

●暫定園のルールは、募集時に、仮に園和が30人超で、園和北が20人台で、合計60人を割り込んだ場合、応募数の多い園和を廃園にするというもので、問題があります。  
●一方で、豊中市の私立の2園（こうづしま幼稚園、庄本幼稚園）に、東園田地区、戸ノ内地区から、88人も通園しています。（左図参照）  
●三年保育の希望があるからとすれば、尼崎市も保護者の意向に添う幼児教育の体制を整備するべきです。

●東園田地区には、私立幼稚園がなく、幼稚園が不足しているのです。

## 2012年12月議会での田村質問と答弁(抜粋)

<田村質問>園和幼稚園の存続を願って地域ぐるみで、一昨年1万2千筆を超える署名、要望が議会、市長、教育長にも届けられている。

東園田地区から豊中市の私立幼稚園に、90人も通園し、尼崎市の補助を受けている。教育長が答弁したように本来、「尼崎の子どもの幼児教育は尼崎で」が基本であるべきだ。

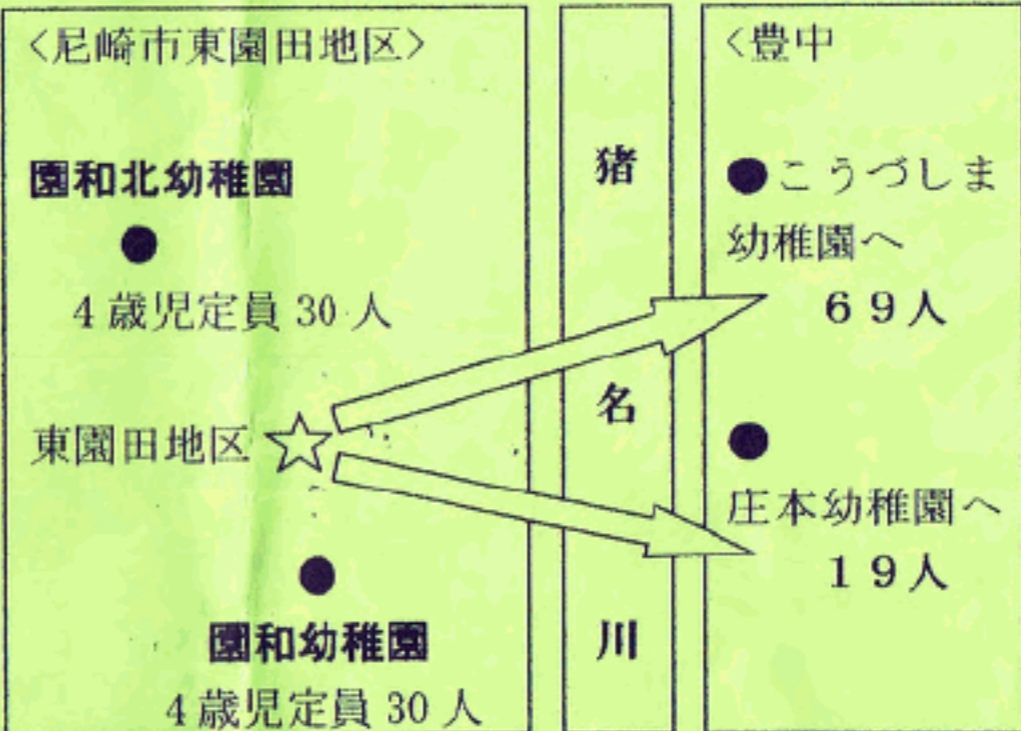
東園田地区では幼児教育を希望している子どもの人数に比べて、幼稚園の定員が少ないのは明らかです。私立幼稚園がない東園田地区では、園和北と園和の両幼稚園を存続すべきです。

園和は暫定でなく、耐震化した上で存続園にすべきではないか？

## <市教委答弁>

ルールをもって暫定的に存続する園を設け、段階的に集約するとしたものでございます。（集約とは、統廃合の意味/田村）

●市教委の資料によっても西宮市、伊丹市、大阪市に隣接した尼崎市の地域で、69人とか19人などと、こんなに多数の幼児が隣の市の私立幼稚園に通園している、地区はありません。（田村征雄）



○こうづしま幼稚園に 東園田町、椎堂から計69人  
○庄本幼稚園に東園田町、椎堂、戸ノ内町から計19人  
→豊中市の私立二幼稚園に88人も通園。（平成24年度尼崎市教委資料）

## ☆市バスの民営化が検討されつつあります

民間のバス会社では、赤字になる路線をまもれるのかどうか、市民の不安の声があります。私は、バス会社の選定に際しては、市と協定を結び、市の関与のもとで、現行のバス路線とダイヤをまもるよう求めていく必要があると考えます。

民間の場合も、東園田町7丁目住民の「足」の確保に向けての取り組みを求めています。

## ☆藻川・猪名川の堤防の液状化対策を求めています。

昨年9月議会の質問で取り上げ、県が調査中との答弁がありました。

安全・安心、希望もてるまちづくりに  
住民の皆さんと力あわせて取り組みます



2013年1月

市議会議員

田村 征雄

いくお